

ごあいさつ

盛夏の候 組合員や利用者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は、当JAの協同組合活動並びに事業運営に深いご理解とご利用を賜り、誠にありがとうございます。

さて、依然として、金融緩和や市場開放をめぐる農業情勢、政府の農協改革など、農業やJA運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の継続方針の決定や農業分野での市場開放をめぐる情勢においても、加速化する国際通商交渉の動きが強まっております。

さらに、政府の農協改革では、規制改革推進会議の答申を踏まえた『新たな規制改革実施計画』において、『信用事業の農林中央金庫への譲渡・代理店化を2019年(平成31年)5月までに着実に実践する』改革を促しており、依然として政府による農協改革の圧力・姿勢はおさまる気配がありません。

こうした金融規制の変化や農業情勢、農協改革、そして、高度化・多様化するニーズに真摯に対応していくため、わたしたちJAは、組合員や利用者の皆さま方への最大限の奉仕を心がけ、しっかりと向き合い、対話を深め、果敢に事業活動を展開し、自己改革の着実な実践に取り組んでまいります。また、今後の国際通商交渉において、地域農業が成り立つ姿を実現するため、地域の農業や社会を守り、安全で安心な地域農産物の安定供給について、強く求める運動を展開していきます。

さて、本年も情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、JAに対するご理解をより一層深めていただくため、事業活動内容や経営概要、経営内容などについてまとめた「DISCLOSURE2017」を作成しました。

皆さまが、当JAの事業や活動をさらにご利用いただくための一助として、ご一読賜ればと存じます。

末筆となりますが、今後におきましても、組合員ならびに地域の期待に応え、皆さまとともに歩み続けていく協同活動を展開してまいりますので、引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

おうみ富士農業協同組合

代表理事理事長 西 田 直 樹